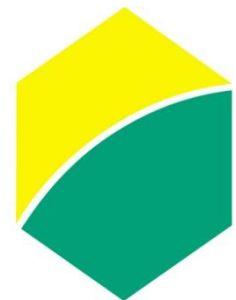


株式会社 日本触媒

2017年3月期 第2四半期決算説明会



2016年11月9日



日本触媒

長期経営計画

「新生日本触媒2020」の進捗状況と 2016年度業績見通しについて



代表取締役社長
池田全徳

目次

1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」概要
2. 2016年度 上期業績
3. 個別事業動向
4. 2016年度 業績見通し
5. 長期経営計画 進捗と計画
6. 利益還元策

用語解説

SAP： 高吸水性樹脂
AA： アクリル酸
AES： アクリル酸エステル類
EO： 酸化エチレン
NSE： ニッポンシヨクバイヨーロッパ

1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」概要

2020年のあるべき姿

	売上高	経常利益	ROA*	新規製品売上高**
2020年度 長期目標：	5,000億円	500億円	9.5%	470億円
2016年度 中期目標：	3,930億円	340億円	8.5%	290億円

基本指針と事業戦略の方向性

基本指針

- ◇安全・安定な生産活動
- ◇売上よりも収益性を重視

事業戦略の方向性

- ◇既存事業・コア製品の
一層の強化
- ◇新規事業の早期立ち上げ、
新製品の速やかな上市

中期および長期目標前提条件：
 国産ナフサ価格 65,000円/kL、US\$=100円、EUR=130円

*ROA：総資産経常利益率

**新規製品売上高：上市から5年以内の製品売上高の合計

2. 2016年度 上期業績

(単位：億円)	2016年度 上期業績	
	8/3修正発表値	実績値
売上高	1,370	1,383
営業利益	80	96
経常利益	95	110
親会社株主に帰属する当期純利益	75	85
ROA (総資産経常利益率)	4.7%	5.4%
ROE (自己資本当期純利益率)	5.4%	6.2%

為替レート

US\$ = 106.52円
EUR = 118.44円
32,300円/kL

US\$ = 105.22円
EUR = 118.07円
31,500円/kL

国産ナフサ価格

8/3修正発表値と比べ、売上利益とも上振れ

- 上振れ要因：
- ・ 販売数量、見込みを上回る
 - ・ 原料価格低下

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

AA：需給動向

需要 世界需要 約500万トン（2015年推定）
中期的に年率5%程度の成長を想定

供給 2015年 増設世界合計 約80万トン/年
2016-17年 増設計画世界合計 約10万トン/年

- ・ 歴史的に低水準の売価だが、利益は確保できている
- ・ 当面、AA、AESの供給過剰が続く

状況と今後方針

収益性向上が急務

- 安価原料： グローバルの地産地消を指向しつつ、安価なプロピレンの調達を目指す
- 設備稼働： SAP需要を背景に稼働率・コスト競争力維持
- 生産技術： トップレベルの技術力を維持するため、新技術の開発・導入を進める



AA プラント

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

SAP：需給動向

需要	世界需要	約230万トン（2015年推定）
		中期的に年率5～7%の成長を想定
供給	2015年 増設世界合計	約30万トン/年
	2016年 増設計画世界合計	約10万トン/年
	2017年 増設計画世界合計	無し

- ・競争激化による収益性低下
- ・一部地域で供給過剰が続くものの、いずれ需給バランスは引き締まる

状況と今後方針

顧客層の充実を進める

- 顧客展開：顧客別に品質や機能面での差別化強化
- コスト削減：AA-SAP垂直統合の強みを生かす
姫路新プラントで1系列あたりの能力アップ
生産性向上の最新技術を立証
SAPサバイバルプロジェクト立ち上げ



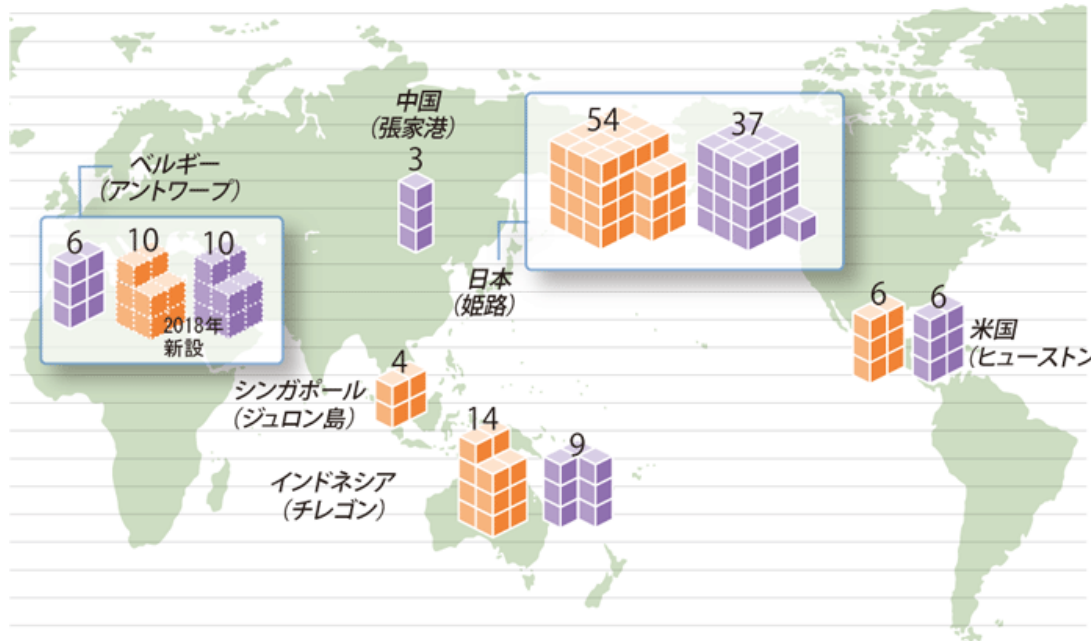
SAPプラント

3. 個別事業動向

1) AA/SAP

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 高吸水性樹脂は世界トップレベルのシェア及び技術を堅持
- ◆ アクリルモノマー事業もトップを走るグローバルプレーヤーを目指す
- ◆ 持続的成長及びグローバル展開を可能とする競争力を維持・強化



 アクリル酸設備
 高吸水性樹脂設備
 同(計画中)
 同(計画中)
 数字は生産能力(万トン/年)

AA/SAP 世界展開状況

増設計画の進捗

生産能力<計画確定分>

単位：万トン/年

	現状	計画	合計
AA	78	10 2018年新設 (ベルギー)	88
SAP	61 2016年 5万トン/年設備 増設(姫路)	10 2018年新設 (ベルギー)	71

増設：姫路5万トン/年設備増設完了(2016年10月運転開始)

今後：市場動向を慎重に見極め、順次増設を進める

3. 個別事業動向

2) EO

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 選択と集中、成長市場への進出により事業基盤を強化し、今後ともコア事業として安定したキャッシュフローを創出する

状況と今後方針

高級アルコールエトキシレート（ソフタノール[®]）

- 界面活性剤
- ① 高い浸透力
 - ② 低粘度による扱い易さ
 - ③ 良好な生分解性

⇒ 家庭用液体洗剤向けにグローバルで需要拡大

※旺盛な需要拡大に應えるため、

- ① 国内（川崎）設備増強実施（2017年秋）
- ② 国内 or 海外で設備新設を検討



家庭用洗剤

3. 個別事業動向

3) 機能性化学品

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ ワールドワイドでトップサプライヤーとしての地位を確立
- ◆ 独自製品・技術による市場開拓と成長市場への参入
- ◆ 自社原料をベースとした世界に通じる高機能化学品群の拡充により収益面での一つの柱に育成

状況と今後方針

光学材料用アクリル樹脂（アクリビュー®）

耐熱性・透明性に優れ **需要・販売拡大**
増設完了・量産開始し、能力9,000トン/年に

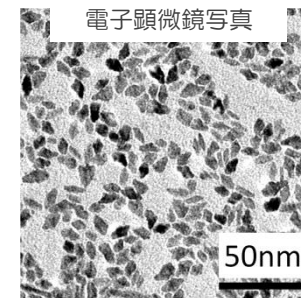


アクリビュープラント

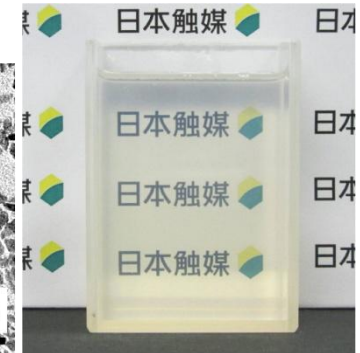
ジルコニアナノ粒子分散液（ジルコスター®）

有機溶媒／樹脂に対する分散能に優れ、
 高濃度でも透明性を維持する屈折率調整剤
 ディスプレイの高輝度化、省電力化による
 バッテリーの長時間駆動に貢献

→ **顧客ニーズ高く、需要拡大中**



ジルコニアナノ粒子分散液



3. 個別事業動向

4) 新エネルギー・触媒

長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 新エネルギー関連材料分野を次世代事業の柱の一つとする
- ◆ クリーンエネルギー分野のスペシャリティ材料市場で業界標準となる技術・製品の開発と市場開拓の加速

状況と今後方針

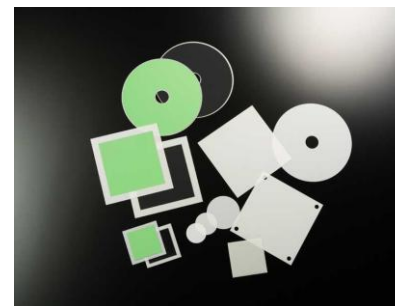
リチウムビスフルオロスルホニルイミド<LiFSI> (イオネル[®])

リチウムイオン電池用の高性能電解質、低高温特性向上、長寿命化に寄与
販売拡大中、自動車電池用評価も本格化

燃料電池用ジルコニアシート・セル

SOFC（固体酸化物形燃料電池）の心臓部材
新たな顧客要望に対応

→ 次世代品を本格投入へ



ジルコニアシート・セル



LiFSI

3. 個別事業動向

5) 新規事業・開発品

新規事業：健康・医療事業

- ◆ 新たな事業ドメインとして健康・医療分野への参入を目指す
- ◆ 戦略投資の活用

(株)糖鎖工学研究所と業務提携および資本提携

糖鎖修飾ソマトスタチンアナログ(G-SRIF)の共同開発

TAK-Circulator(株)との資本提携

核酸医薬シーズの開発促進

当社、
・ 医薬合成研究施設を設置(吹田地区研究所内、2016年11月稼働開始)
・ 原薬合成製造設備 建設検討中

→ **ペプチド医薬、核酸医薬事業参入へ**



医薬合成研究施設(吹田)

開発品

イオン伝導性フィルム及び一体型亜鉛電極

安全・安価な亜鉛二次電池の新規セパレータ部材と
それを用いた一体型亜鉛電極を開発

→ **寿命を10倍以上改善**



イオン伝導性フィルム

4. 2016年度 業績見通し

(単位：億円)	2015年度	2016年度		
	通期実績	上期実績	下期予想	通期推定
売上高	3,231	1,383	1,417	2,800
営業利益	312	96	124	220
経常利益	343	110	140	250
親会社株主に帰属する当期純利益	260	85	105	190
ROA (総資産経常利益率)	8.3%	5.4%	6.9%	6.1%
ROE (自己資本当期純利益率)	9.6%	6.2%	7.6%	6.8%
為替レート	US\$ = 120.14円 EUR = 132.59円	US\$ = 105.22円 EUR = 118.07円	US\$ = 105円 EUR = 115円	US\$ = 105.11円 EUR = 116.54円
国産ナフサ価格	42,800円/kL	31,500円/kL	35,000円/kL	33,200円/kL

計画達成へ向けて

- ・ **安全** 安定な生産活動
- ・ 販売**数量**の確保
- ・ 適正な**スプレッド**の確保
- ・ 全社連携による**新規製品の速やかな上市**
- ・ **収益改善**活動の継続
- ・ 原料等安価調達、物流コスト・経費削減

5. 長期経営計画：前半中計(2014-16年)進捗

主要設備投資

社名	国	場所	製品名	生産能力 (万トン/年)	商業運転
日本触媒	日本	姫路	フェニルマレイミド	1	2014年2月
		川崎	特殊エステル	2	2014年4月
		姫路	AA	8	2014年7月
		姫路	アクリビュア	0.3	2016年8月
		姫路	SAP	5	2016年10月
日本触媒	日本	川崎	ソフタノール	1	2017年予定
NSE	ベルギー	アントワープ	AA	10	2018年予定
		アントワープ	SAP	10	2018年予定

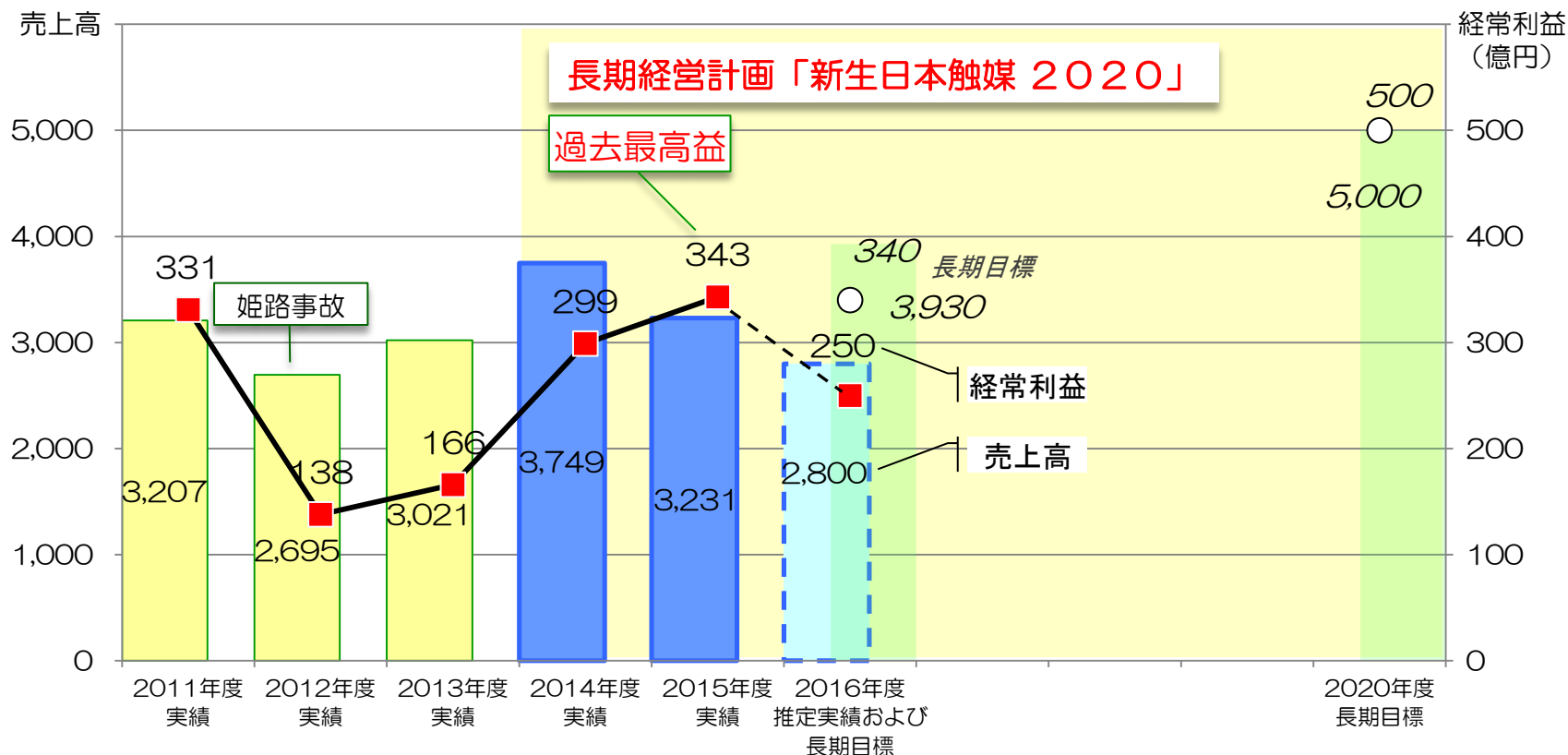
新規事業展開

- ・健康医療分野
ベンチャー企業との業務・資本提携を通じ、ペプチド医薬・核酸医薬分野参入へ

長期経営計画「新生日本触媒2020」(2014~20年度)の下、
成長の基盤作りを着実に推進

5. 長期経営計画：前半中計(2014-16年)進捗

業績推移



- ・ 2014, 2015年度とも目標数値クリア
- ・ **2015年度：過去最高益**
- ・ 2016年度：コア事業環境激変、機能性化学品(電材等)健闘

長期目標前提条件：
 国産ナフサ価格 65,000円/kL,
 US\$=100円、EUR=130円

5. 長期経営計画：後半中計(2017-20年)計画

経営計画について

後半中期経営計画を策定中

- ・コア事業を堅持しつつ、成長事業・分野へのシフトを進める
- ・長期経営計画「新生日本触媒2020」の経営方針は堅持する

2025年のありたい姿
「人の暮らしに新たな価値を提供する**革進***的な化学会社」

6. 利益還元策

事業拡大や企業体質の強化等を総合的に勘案しつつ、
連結業績の動向を見通し、中長期的水準の向上を目指した配当を行う

2015年度配当

当期純利益 260億円

130円/株(当初) → 150円/株

過去最高額を更新

連続増配でかつ前年度に対し30円/株の増配

円/株	中間	期末	合計
普通配当	65	75	150
創立75周年 記念配当	-	10	

2016年度配当(予想)

当期純利益 190億円

150円/株

過去最高額と同額

前年度記念配当10円/株を普通配当に組込

円/株	中間	期末	合計
普通配当	75	75	150

(注)各年度の配当額はすべて、2015年10月1日の株式併合(5株を1株に併合)実施後の株式数をもとに表示しております。

	2008~15年度平均	2015年度	2016年度(予想)
配当性向	28.3%	23.4%	32.0%

おことわり

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 経営企画室 | IR・広報部

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7605

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>